

活動名：フットサルサイト郡山大会U-10

会場：フットサルサイト郡山

参加：FC Allez エンジョイ4クラス（選抜） 8名

帯同：渡邊コーチ、貝和スタッフ

報告：渡邊コーチ

結果：12位（16チーム中）

予選リーグ

●蓬萊FC 0-7 ●赤木SSSI 2-7 ●城北FC 2-5

●エストレージャスB 0-11

下位トーナメント

○赤木SSSI 2-1 ●金透SSSI 1-8 ●FCみらい 1-3

フレンドリーマッチ

●鏡石SSSI

簡単にフットサルについて説明します。まずフットサルは5人（GK含む）で戦います。スローインの代わりにキックインや5mルール、4秒ルールとサッカーとは異なるルールがあります。サッカーと違い人数が5名と人数が少なく個々の技術がものをいうスポーツです。もちろん、ゴールやピッチもサッカーより小さくなりますので、自然と攻守の切り替えが速くなり、スピーディーな試合を観ることができます。そんなプレーヤーも観客もワクワクするフットサルの大会にエンジョイ4クラスから8名を選抜し小雪がちらつく中、選抜の監督として2日間戦ってきましたので報告します。

エンジョイ4クラスは、人数が多いことから各選手の経験の場を多くするため（出場時間を長く）、喜多方フットサル、小野フットサル、フットサルサイト郡山の3つの大会に参加する選手をリフティング回数などを基準に選手を選抜しました。今大会は、リフティング回数が10回以下の選手を選抜しました。そして、選手たちには、開会式の前にFC Allez エンジョイ4クラスの選抜として、この舞台に立っていること、FC Allezの選手として誇りを持って戦って欲しいと伝えました。このメンバーがどのような戦いを見せてくれるのか。どこまで戦えるのか。私自身楽しみで仕方がありませんでした。そして、今大会をとおして、選手たちが自分で何かに気付いてもらえるきっかけとなれば、そんな思いで望みました。

戦い方のコンセプトは、攻撃に関しては「縦に速く」、守備に関しては「体を入れる」です。

1 試合目

● 0-7 蓬萊FC

相手の速い寄せに苦戦。向かってくる相手をいなすだけの余裕が無かったです。トラップするなど一つの動作をすることだけで精一杯になってしまうため、次のプレーにつながらない。責任感の無いプレーを連発。結果、全員がボールウォッチャーに…。即席GKの頑張りなければ、もっと点を取られていたことでしょう。

2 試合目

● 2-7 赤木SSSI

1 試合目を見ていたところ、選手たちはピッチに入ったら何をすればいいのかが分からない様子だったので、2 試合目の開始前に選手たちにピッチに入ったら何を認識しなくてはならないかということ伝えました。結果、待望のチーム初得点が生まれました。

3 試合目

● 2-5 城北FC

チーム全体として、点の取り方が分かりつつあるような感じでした。どうしたら、ゴールを決めることが出来るのか。そのコツが掴みかけつつある。そんな試合でした。

4 試合目

● 0-11 エストレージャスB

予選リーグで最も良い戦いでした。結果だけを見れば大敗です。しかし、どの選手も最後まで相手に食らいつき必死にプレーしていました。特に守備のテーマである「体を入れる」が少しづつできるようになっていました。どうしても守備に追われる時間が長くなり体力を奪われてしまい、攻め手を欠きましたが、時折見せた縦パスからシュートまでの流れは、スピーディーで、選手個々のポテンシャルの高さを垣間見えた瞬間でした。

下位トーナメント

1 試合目

○ 2-1 赤木SSS

初日4 試合目が非常に良かったので、今日こそはやってくれるだろうと信じ望んだ初戦。良い感じで攻めていましたが、ゴールを奪えずにいると一瞬の間をつかれて、相手チームに先制点を献上。普通なら、気持ちが切れてしまうような展開ですが、このチームは、常に前を向いていました。「1 点取り返そう」と互いに声を掛け合っているんです。最後まで諦めない気持ちが生んだ同点ゴール。ゴールを決めた選手はこの日が初公式戦。魂で決めたゴールでした。このゴールが我がチームに勢いをもたらした。このチームの点取り屋が試合終了間際に1 本の縦パスに反応し相手選手を振り切り、GKとの1 対を冷静にゴールに流し込み試合終了。貝和スタッフも写真撮影を忘れるほど、個々の選手が最後まで躍動感あふれるプレーを見せてくれました。

2 試合目

● 1-8 金透SSS

このチーム、得点は奪えるのですが、集中力がもたない。相手がキックインのときに休んじゃうんですね。そして、その一瞬の間をつかれての失点。もったいない。

3 試合目

● 1-3 FCみらい

チャンスは多くありましたが、決めきれなかったです。

感想

初めて参加した大会でしたが、県外のチームも参加しており、全体的に個人のスキルが高いチームが多く、レベルの高い大会だったと思います。このような大会に出場できた今回のメンバーにとって非常に良い経験になったのではないのでしょうか。練習とは異なる雰囲気。そして、なにより、参加人数が少ないことから甘えることが出来ない。これが一番今回のメンバーに伝えたかったことです。とにかく、この選抜メンバーは、日頃の練習でもすぐに、他の選手に任せてしまう。そんな感じの選手が多いんです。協調性といえば、それはそれで聞こえがいいのですが。私からすると失敗を恐れて逃げているだけにしか見えないんですね。誰でもそうだと思いますよ。失敗したらカッコ悪いですから。「弱気でやった」という言葉をよく耳にします。その都度、私は「けど負けたよね？弱気だからどうしたの？」と尋ねます。すると返答出来ないんです。だって本当はすごく悔しいから。ある意味、今回の選抜メンバーは、負けず嫌い過ぎて、熱くなれない感じの選手が多い印象でした。しかし、そんなメンバーも逃げることでできない状況。いつもなら、ボールを渡せば点を取ってくれる選手や自分が走らなくても相手からボールを奪ってくれる選手がいますが、今回はいません。自分がやるしかないんです。そんな過酷な環境に置かれた8人でした。しかし、そんな環境が確実に選手たちの心を成長させていったのは間違いありません。1つの成功が与える選手たちへの影響力。例えば、「味方に蹴ったボールを受けた選手がゴールを決める」「相手のドリブルに必死に食らいつきボールを奪う」「相手のパスを読みインターセプト」など、少しずつ積み重なる成功経験が自信へと変わっていき、試合を重ねるごとに発言内容も大人に。びっくりです。あの他人任せで、ミスを嫌う選手たちが…。心が変わると当然、人生が動くんですね。神様は見ているんですね。そう、このチームらしい諦めない気持ちが生んだ逆転勝ちでした。そんな心の成長を見せてくれた今大会でした。ある選手は、「リフティングを練習してBチームに上がりたい」と。自分で気付いたんですね。素晴らしいことです。あとはやるだけ。この負けず嫌いの選手たちの心に火が付いたら誰にも止めることは出来ないだろうと感じました。全力でプレーしたからこそ生まれるものがあるということを選手は分かったのではないのでしょうか。あとは継続です。

今回も優勝を狙い挑みましたが、惜しくも優勝を逃してしまいましたが、選手たちは今持てる実力を全て出してくれました。これも雪がちらつき冷たい風が吹き付けるなか、最後まで応援していただいたご父兄のみなさんの支えがあってこそでした。2日間本当にありがとうございました。また、練習後応援に駆けつけてくれたエンジョイ4クラスの選手及びご父兄のみなさん、本当にありがとうございました！

そして、「U-10チームWatanabe」のために熊坂コーチ、遠藤コーチも休みの中、応援ありがとうございました！

最後になりますが各チームの保護者、コーチ、大会運営のNPO法人エストレージャス関係者の皆様、二日間ありがとうございました。



